



6月29日(木)の6限目に、体育館において1年生を対象にした性教育セミナーを開催しました。小中高等学校養護教諭連携による初のセミナーとなりました。小中学校の講師として、千葉市立宮野木小学校の養護教諭と千葉市立緑が丘中学校の養護教諭をお招きしました。セミナーは3部構成になっており、自分の性の成長段階を振り返り、命の大切さへの理解を深めるとともに、将来について考えました。

第1部

講師：宮野木小学校 工藤養護教諭

内容：寸劇「性の目覚めについて思い出そう」を通して、性の受け止め方の認識の違いについて考えました。人には個人差があり、人とは違うということ、気にしていたことを思い出さずことで、親にどのような言い方をされたらうれしいのかを考えました。将来、自分が親の立場になった時のことを想定して考えました。

第2部

講師：緑が丘中学校 高柳養護教諭

内容：二次性徴についてとデートDVについての講演。高柳先生は、講演の中で「**性教育は、命の教育です。一人で悩まず、誰かに相談する。SOSを出せる力を養って欲しい。**」と語りました。



高柳先生の講演時の様子

第3部

講師：千葉北高校 進藤養護教諭

内容：テーマは、「ライフデザイン（結婚や子育て、住居、老後の暮らしなどについて計画すること）を描こう」と「この先の将来（家族からの独立、人間関係、職業選択、社会人として、恋愛・結婚、家庭生活など）について考えてみよう」の2つ。

進藤教諭が、自分の経験を語りながら、生徒に伝えたかったのは、以下の内容です。

- (1) 迷った時は、ネット頼みではなく、家族や先生、**支えてくれる大人に相談しよう**
- (2) 希望の職業、やりたいこと、好きなことを見つめよう
- (3) ライフデザインは変更可能。今から考えておこう
- (4) 結婚、妊娠、出産、性のとらえ方は**人によって様々**
- (5) 体の成長とともに、**心も成長**して欲しい
- (6) 青年期は二度目の誕生、自分らしく生きようとする精神的な誕生

「われわれはいわば2度生まれる。
一度目は存在するために、
二度目は生きるために、
一度目は人類の一員として、
二度目は男性として女性として。」
(ルソー)



進藤教諭による講演時の様子

